

第2回 みんなのひろばワークショップが開催されました。



開催概要

開催日時	平成 26 年 8 月 20 日 (水) 19:00 ~ 21:00
開催場所	KH三番町プレイスビル 4階 会議室
主催者	松山市都市デザイン課、松山アーバンデザインセンター
参加人数	45 人
概要	「みんなのひろばを“コーディネートしよう!”」をテーマに5班に分かれ、それぞれのグループテーマについて議論しました。

プログラム

I. 開会挨拶

II. 全体説明

- 1) 前回意見及びそれを踏まえた広場設計について (松山市)
- 2) 広場設計の考え方 (詳細) (梅岡氏)
- 3) 本日のワークショップの論点について (羽藤先生)

III. ワークショップ

第1回のワークショップでの意見 (ひろばでやりたいこと) をもとに、4テーマ5班に分かれて、それぞれのテーマについて議論する。

グループ	主な討議内容
1) イベント (A・B) 班	: ひろば・施設での賑わいイベント・活動について考える。
2) マネジメント班	: ひろば・施設におけるルールづくりや管理・運営について考える。
3) ものづくり班	: ひろばにおけるオプション (設え等) について考える。
4) 情報発信班	: ひろば・施設やそこでの活動についての広報・情報発信を考える。

IV. チーム発表・講評

V. 閉会

開会あいさつ

松山市都市デザイン課 坪内課長より、開会の挨拶がありました。「第1回目のワークショップに引き続き、活発な意見により、みなさんが思い描く広場を一緒につくりあげていきたいと思えます。

また、地元商店街の方々も交えた『松山市中心市街地賑わい再生社会実験専門部会』では、ひろばのルールや管理などについて意見交換がなされており、専門部会とワークショップでの意見のキャッチボールを行いながら、進めていきたいと思えますので、活発なご意見をよろしくお願ひします。」と話されました。



(2) 広場設計の考え方（詳細）について

ワークショップ意見を踏まえた広場設計の考え方について、広場の設計をしている梅岡恒治氏（梅岡設計事務所）より、説明をいただきました。

広場設計においては、限られた空間において、丘や水場、遊具の構造、配置等を「日常時」と「イベント時」使い方に配慮し、利用者が憩える場となることを重視した検討がなされたことなどを説明していただきました。



全体説明

(1) 前回意見及び広場設計への反映について

第1回ワークショップの振り返りとして、松山市より広場設計に関わる意見の概要について説明がありました。

また、前回のワークショップ参加者の中から、要望があった「まちなかの現状」に関する説明があり、参加者の共通認識を深めました。



(3) 本日のワークショップの論点について

本ワークショップの講師である羽藤英二先生（東京大学大学院工学系研究科教授）により、ワークショップの論点について、ご説明していただきました。

“情報発信班”は、「誰をターゲットにするか」等の戦略を中心に、“ものづくり班”は、「参加型で広場・建物を設えていく仕組み」を、“マネジメント班”は、「火気の使用など現実的な問題」も含めた運営の仕方について、“イベント班”は、「イベントだけでなく、その頻度など広場をプロモーションする」視点で議論をしていくよう、各班の論点をはじめに明確にさせていただきました。



イベントA班

イベントA班では、現実的に実行できそうなアイデアが多く挙げられ、特に、派手なイベントを外から誘致するのではなく、既に県内で活動している人・団体を基本に“地元”を中心とした活動のアイデアが出されたのが特徴でした。

また、イベントは、テーマを設けてやるというのが一つのアイデア・方向性として議論されました。



ひろばで何をやるか？	いつやるか？	誰がやるか？	どのようにやるか？
☆映画 ☆フリーマーケット ☆ゆるキャライベント（ゆるキャラを作る！） ☆紙芝居 ☆流しそうめん ☆カルチャースクールの発表会 （フラダンス・お琴など、企業のスクール） <その他のイベント> ・お化け屋敷／学校の絵画展／マチコン（婚活、料理イベントなど）／てくるんのイベントを屋外で行う／日替わり弁当屋の出店／消火訓練、防災訓練／水かけ祭り／フードバトル／松山グルメイベント／ジャンルごとのしゃべりば／学際サテライト／ビールイベント／大学の授業をする（単位をとれる）／待ち合わせ場所になるく工夫（顔ハメパネル等）	・夜のイベント ・人が集まる午後 ・土、日 ・朝と昼の2回 ・夏のイベント ・冬でも ・平日の昼や夜	・学生、プロなど ・テーマ毎に人を集める ・保育士を目指す人 ・地元の人とみんな ・地元の人を中心に	<映画> ・テーマを設けて実施（短編映画、昭和の作品、アニメ等々） <フリマ> ・テーマを設ける（10代の出展者、家具だけ等々） <ゆるキャラ> ・ゆるキャラと一緒に遊ぶ（鬼ごっこ、ゆるキャラになれる）

イベントB班

イベントB班では、広場や建物で実施するイベントについて、アイデアが挙げられ、短期的に実施するもの、継続的に実施するものに分けて整理がなされました。

今後、具体的なイベントの開催スケジュールや料金徴収規程など具体的なルールとともに、誰が、どのように実施するかなど、より具体的な議論へ発展することが期待されます。



ひろばで 何をやるか／どこでやるか？		いつやるか？	誰がやるか？
①芝生広場でできるイベント	②屋内でできるイベント		
《単発企画》 <ul style="list-style-type: none"> ・オープンイベントで園児の看板立て ・そうめん流し/BBQ/まつり・盆踊り ・演劇/紙芝居/絵本の読み聞かせ ・ハンモックで昼寝/ピクニック ・天体観測/出張動物園/防災イベント ・ダンス/映画/パブリックビューイング 《定期的・継続企画》 <ul style="list-style-type: none"> ・オープンカフェ/マルシェ/フリーマーケット ・弁当の移動販売/駄菓子売り ・音楽会/読書会/絵本の読み聞かせ ・ビジネスミーティング ・ラジオ体操/スポーツレクリエーション ・コンサート/カラオケ大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・フリードリンク/カフェ/飲食イベント ・ビジネスカルチャースクール/勉強会セミナー/ワークショップ/講演会 ・子供向けお仕事紹介/子供の発表会 ・ビジネス用のPCコーナー ・映画/ミニ演奏会(ジャズ) ・試食コーナー/商店街の新商品発表会 ・ダンス・演劇/パーティー/結婚式 ・料理教室/移動式キッチン ・アートイベント/絵の展示/書道展示/俳句展示 ・情報発信拠点/ラジオ放送 ・料理教室/生け花教室/工作教室 ・読書/古本コーナー/読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープン時 ・週1回 ・年数回 ・1回限り ・季節限定 ・常設 ・祝日限定 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生 ・大学サークル ・ボランティア ・松山市 ・幼稚園 ・町内会 ・商店街 ・NPO ・発案者 ・企業 ・教室の先生 ・アーティスト ・画家 など

マネジメント班

マネジメント班では、「利用面で発生する問題」「管理運営上で考えておくべき課題」とそれぞれの対策が活発に議論されました。

特に利用上のルールについては、禁止事項の貼り紙などの否定的な管理ではなくて、「モラルの向上」「利用と禁止の折衷案を設ける」などの現実的なアイデアが挙げられました。



オープン後に想定される問題・課題は？	ひろば利用・運営のルールを考える
【利用面】 《イタズラ》 <ul style="list-style-type: none"> ・丘が削られる(いたずらされて形が崩れる) ・やたら深い穴を掘る人がいる ・電気を盗まれる/芝などが持ち去られる 《ペット・ゴミ》 <ul style="list-style-type: none"> ・野良猫・犬を飼育される(土管とかで)/ペットのふん ・ゴミのポイ捨てが起こる/分別がされない 《夜》 ・たまり場になる 《火・たばこ》 ・花火・たばこによる火事/喫煙・ポイ捨て 《騒音》 ・無断でライブを行う/宴会場になる 《スポーツ活動》 ・球技の利用/ボール遊びが危険 《子供》 ・子供が道路に出る 《乗り物》 ・スケボーの乗り入れによる子供のケガ <ul style="list-style-type: none"> ・自転車の乗り入れ/放置自転車、駐輪 【管理運営面】 《手続き》 <ul style="list-style-type: none"> ・利用するときの申請方法は?/気軽にイベントを企画できるしくみ/イベントの申し込みの仕方/使用料は? 《責任者》 <ul style="list-style-type: none"> ・建物側の利用時間(朝→夕or夜まで?) ・植栽の管理は?/何かあったときの連絡先は?/広場内で事故が発生した場合の連絡網は? 	【利用面】 《イタズラ》 <ul style="list-style-type: none"> ・落書きが可能な壁にする/丘に名前をつけて愛着を持たせる/ラクガキ用の壁を作る/あきらめるむしろ落書きさせて美しく調整する/洗えば色が落とせる壁にする ・防犯カメラの設置/警察官・警備員を常駐させる/利用時間の制限 《ペット・ゴミ》 <ul style="list-style-type: none"> ・ペット可の領域を作るか不可にする ・捨てたくなるゴミ箱をつくる/テイクアウト店のゴミ箱を設置→ゴミ箱の管理に各テイクアウト店に協力してもらう→広場の運営に参加してもらう 《夜》 ・夜の広場の安全の確保/夜、守衛さんを配置する 《火・たばこ》 ・喫煙所の設置/責任者をローテーションで任せる/禁止事項の看板 《騒音》 ・防音壁で囲う 《スポーツ活動》 ・球技禁止を書く/時間帯によってできるスポーツを定める。 《子供》 ・道路側にプランターなどを置く。 《乗り物》 <ul style="list-style-type: none"> ・フェンスを設置して出入口を狭くする ・近隣の駐車場マップ/サイクルスタンドのデザインコンペを開催/監視員を置く 【管理運営面】 《手続き》 <ul style="list-style-type: none"> ・窓口をネット上に作る。URLの表示/手続きを松山市に任せる/ホームページ利用で申請/UDCMにイベント開催に関する相談コーナー設ける 《責任者》 <ul style="list-style-type: none"> ・責任者はあなたです。/安全→非常ベルの設置/市民参加型のイベント化をする

ものづくり班

ものづくり班では、ベンチ・菜園を中心に、DIYに向けたアイデアが挙げられた。特に、単に座るだけのベンチではなく、菜園活動や季節を想定したベンチについて議論されました。

また、設計、利用、メンテナンスの各ステップを意識して、今後ものづくりに関わっていく人、必要な人についてアイデアが出されました。



どのようなデザイン・仕様にするか？	何が必要？
<p>《ベンチ》</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな種類のベンチを作る 屋根付きベンチ / 丘用のベンチ / 組み合わせで、ステージにもなるベンチ / 収納ベンチ（清掃用品・消火器、菜園用のスコップ・くわ） / 連結できるベンチ / 子供の飛び出し防止のベンチ <p>《デザイン》</p> <ul style="list-style-type: none"> 松山城の石 県内の材料（砥部焼） 松山らしさを色で表現（オレンジ・緑・茶） おばあちゃんお手製の座布団 砥部焼のタイルをイベントで作って、はめこむ。 <p>《冬、雨》</p> <ul style="list-style-type: none"> かまくら 街灯みたいなヒーターをつける <p>《屋根付きベンチ》</p> <ul style="list-style-type: none"> 日除けとしては布 雨除けとしてはテント カサ 	<ul style="list-style-type: none"> 木材 <ul style="list-style-type: none"> カサを作るプラスチック 布 ベンチづくりのイベント 大工ができる人 設計図を考えてくれる人 加工や補強など、プロに任せる前段階の組み立てをイベントでやる 壊れたら直してくれる人

情報発信班

情報発信班では、商店街・市民・観光客に効果的な広報手段が議論されました。

また、広場自体を広報に使うということに着眼し、そこで、ポスター、カレンダーで来訪者に周知し、口コミで広がっていくアイデアなどのアナログ的な手法についても議論されました。



効果的な広報手段			広報の仕組み
多	来訪頻度	少	
<p>《商店街》</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店街内のストリートビジョン てくるんにポスター掲示 パンフレット広告/店舗にポスター 地元の口コミ ビラ配り（商店街の出入り口） ※さらに具体的なターゲット（現地） <ul style="list-style-type: none"> イベントカレンダー 利用ルールのサイン 公園の入り口に旗を付ける 休憩所・トイレの案内サイン （学生） <ul style="list-style-type: none"> 学内の掲示板でイベントの告知 （子供・子育て世代） <ul style="list-style-type: none"> 小児科等の病院 児童館 小中学校・幼稚園の案内 	<p>《市民》</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通（電車・バス） オープニングイベントでのプロモーション 広告物の配布 ポスティング 市広報誌 リック、リビング松山 HP/SNS、ツイッター、FB キャッチコピーを作って商店街や市内電車に啓示 	<p>《観光客》</p> <ul style="list-style-type: none"> TV、ラジオ、HP、報道 	<p>（1）時間軸・過程に配慮した広報 （2）ターゲットごとの広報 （若者） ・HP ・SNS（ツイッター、FB） ・ブログ ※プロジェクトごとに発信する（全世代） ・TV（もぎたて、ニュース） ・ラジオ ・雑誌（こまち・タウン松山） ・新聞 （3）管理等について ・市民が管理できる仕組み ・情報発信の勉強会をする ・商店街の方と意識を共有し連携する。</p>